

小型,中型バーナー用酸素発生機

EX-5/ EX-10/EX-15/EX-20 酸素ジェネレーターEX シリーズ 共通説明書



この酸素発生装置は、本体のスイッチを ON にするだけで大気中の空気を取り込み、内部のコンプレッサーで圧縮して冷却装置を通過した後、ベットと呼ばれる部品の中のゼオライトにより、酸素と窒素に分別を行います。

窒素は、そのまま排出をして、酸素のみをタンクに貯蔵し、内部のレギュレーターを経由して、酸素バーナーに酸素を供給する装置です。

元々は医療用に使用されていた機種を、ガラス工芸の用として仕様変更し、ご家庭でも酸素バーナーをお使い頂けるように開発されたリビルトモデルです。



各部名称

①電源スイッチ・ランプ

運転のスタート、ストップの際に使用します。「O」はオフの状態、「I」はオンの状態です。運転中には、ランプが点灯します。

②酸素噴出口

こちらより、酸素が出てきます。

③フローメーター

上部のつまみで酸素流量を調節します。

(左回して増量し、右回して減量)

メーター内部のボールを目安して下さい。

小型バーナーの場合5の位置に、中型バーナーは各スペックにあわせ、それ以上に設定して下さい。



製品仕様

EX-5		EX-10	
排出圧力	7PSI	排出圧力	8~10PSI
流量/分	0~5LPM	流量/分	0~5LPM
必要電力	115~120V、60Hz、400W	必要電力	115~120V、60Hz、400W
重 量	約 25kg	重 量	約 25kg
EX-15		EX-20	
排出圧力	12~15PSI	排出圧力	16~18PSI
流量/分	0~8LPM	流量/分	0~10LPM
必要電力	115~120V、60Hz、600W	必要電力	115~120V、60Hz、600W
重 量	約 25kg	重 量	約 27kg
EX シリーズ 共通			
酸素濃度	90%±4%		
サイズ	幅 48 cm x 奥行き 33 cm x 高さ 68 cm		
適正室内温度	15℃~32℃		
保管温度	18℃~37℃		
保管湿度	95%まで		
コンプレッサー内部の温度	51℃		
コンプレッサー安全装置作動温度	64℃		
使用可能の標高	2250m (7500 フィート)		
無償補償	納品日より1年間		

- ※ 酸素濃度は室温、湿度、標高などの使用環境により若干変化します
- ※ 著しく低音、高温になる場所での保管は避け、上記の使用室内温度の範囲に調整してからご使用下さい。

【設置をする際にご確認下さい】

1. 梱包用の箱からジェネレーターを取り出す際、輸送による破損が箱にないかどうかご確認ください。箱に破損のある場合は速やかに当社までご連絡ください。
2. 水平な場所に設置して下さい。
3. 機械後方のアクセスドアを開けインタンクフィルターがしっかりと固定されているかご確認ください。
4. インタンクフィルターは真っ直ぐに固定して下さい。
空気のめぐりがよい、壁から30cmほど離れた場所に置いてください
5. 設置場所は、できるだけ清潔で、湿気のない、涼しい所で、御使用下さい。
6. アップトランス（変圧器）を使用し、コンセントから直接の接続を推奨します。
アップトランスなしで使用すると、本来の性能が最大限に引き出されず、途中で止まったりするなど、性能が不安定になります。

使用手順

【電源の入れ方】

1. 酸素発生装置背面下の電源プラグを変圧器（アップトランス）の出力側の上に差し込み、その後アップトランスの電源プラグをご家庭の 100V 電源に差し込みます。
2 台までの連結でしたら単一回路で使用できますが、同じ回路に消費電力の多い他の電気製品が使われていると、ブレーカーが落ちる事もありますので、その場合は当社と最寄の電気店にご連絡をください。
2. LPG ガスのガスホースとバーナー本体、酸素ホースをバーナーとジェネレーター間に接続してください。ホースの接続部分はホースクリンプでしっかり固定して定期的にホース表面のヒビ割れなど劣化がないか確認してください。
3. 酸素ジェネレーターのスイッチ①をONにして 3～5 分ほどウォームアップをさせ、排出する圧力と酸素濃度を安定させます。フローメーターのボールの位置を最大流量に調整してください。
(EX-5 : 5LPM / EX-10 : 5LPM / EX-15 : 8LPM / EX-20 : 10 LPM)

【バーナーの点火】

1. お手持ちの、酸素バーナーのガス調整つまみをゆっくり開いて、点火を行います。
2. ガスのみの炎（黄色い炎）が点いたら、その後ゆっくりバーナーの酸素調整つまみを開きます。この時に、酸素発生装置の本体のフローメーターの流量を、調整しながら、作業に必要な炎をつくります。
3. 一度、炎が安定したら、バーナーの調整つまみで炎の調整を行います。

※バーナー点火時にのみ、酸素のつまみを閉じます。そしてガスのつまみを開き、着火マン等でバーナーを点火させます。ジェネレーターを運転させながら酸素のつまみを閉めたままにすると、ジェネレーター内部の圧力が上がりすぎコンプレッサーが停止する事があります。御注意下さい。

【バーナーの消火】

1. バーナーの酸素のつまみを閉じます。
2. 次にガスの元栓を締め、ホースに残ったガスを出し切るため、しばらくオレンジの炎が消えるまで出します。消えたら、ガスのつまみも閉めて下さい。
3. 酸素ジェネレーターのスイッチを OFF にしてから、再度バーナーの酸素つまみを開けジェネレーター内部の残った空気を出します。
4. 使用後は、電源コンセントは抜いておきましょう。

注意点とメンテナンス事項

1. 酸素発生装置は、お手持ちの酸素バーナーにあったスペックのものをお選び下さい。
2. 酸素バーナーの酸素供給の用途にのみご使用下さい。
3. この酸素発生装置は、精密な機器を、内部に搭載しておりますので、分解や改造は、絶対に行わないで下さい。
4. 装置内部のコンプレッサーに、モーターが搭載されており、運転開始時には特に、電力を要します。タコ足配線での他の電気製品と同じ回路での御使用は避けて下さい。
5. 転倒させたり、強い衝撃を与えないで下さい。また本体に向かって、バーナーの炎を向けしないで下さい。
6. 適正室内温度の環境で使用して下さい。あまりに気温の低い環境で使用されますとコンプレッサー内部のグリスが固まり、正常に作動しないだけでなく、故障の原因ともなり得ます。
7. 一度、ジェネレーターのスイッチをOFFにしたら、(バーナーの酸素つまみを開けて)、ジェネレーター内部の酸素圧力を全部出して下さい。次に作業を開始するまでに 2～3分ほど間隔を開けてください。
8. 使用中は酸素バーナーの酸素つまみを閉めないでください。この事でジェネレーターの内部の圧力が高まり運転が停止する事があります。停止した場合はバーナーの酸素つまみを開け、数分間圧力を抜き再スタートして下さい。
9. 装置周囲での喫煙は控えください。
10. 1週間に1度は、ジェネレーターの横にある長方形のフィルター(キャビネットフィルター)を掃除してください。
11. 機械後面のドアを開けると丸いインレットフィルターとインレットプレフィルターがあります。この丸いプレフィルターは1ヶ月に1度は埃などが溜まっていないかチェックし、汚れていたら掃除してください。インレットフィルターは約半年ごとに交換してください。フィルターを戻す際は真っ直ぐ差込み、時計回りに回ししっかりと固定させます。
12. 本機内部では、ベットの中のゼオライトを用いて、酸素と窒素のガス分離を行っており、そのゼオライトのあるベットには交換の時期がございます。酸素排出が低下した場合は、ベットの交換が必要となりますので、弊社まで一度ご連絡下さい。
13. 梱包のケースは、精密機器である酸素発生装置を安全に運搬し、かつ保管することの出来る「専用ケース」でも有り得ます。メンテナンスや修理の際の御返送、また、皆様に長くお使い頂く為にも、梱包ケースは処分しないで大切に保管して下さい。

こちらの商品につきまして、お気づきの点等ございましたら、
お手数ではございますが、下記までご連絡下さいませよう、お願い申し上げます。

《お問合せ先》

ロペックスインターナショナル株式会社

本社〒664-0843 兵庫県伊丹市岩屋1丁目1-18

TEL:(072) 767-1091 FAX:(072) 767-1097

E-mail contact@ropex.com URL <http://www.ropex.com>